

第1回審議会に関する意見・質問等について

	資料番号	ページ	行	意見・質問等内容	町の回答
1	資料 2	9	-	【誤記】人口動態 グラフの凡例の誤記 オレンジ色のバー：× 自然増減、○社会増減	修正する。
2	資料 2	16	-	水産業の就業者数が増加傾向にあるようだが、どのような取り組みをしたのか伺いたい。これから久米島を元気にするヒントがあるのではないかと？	漁業者の増加要因として、祖父や親からの事業承継がうまくいっているという要因があるとも聞いている。様々な要因があると思われるので、さらに分析し、他産業に展開できるような取り組みがあれば参考にしていきたい。 今後も水産業の活気のある流れを持続できるよう、個別施策の中で、検討していきたい。
3	資料 2	26	-	一般廃棄物資源比率のグラフで、久米島7%に対し、粟国村は30%以上と県内トップである。その違いが何なのか知りたい。同じ離島で似たような環境で、この違いはなぜか？また、また、排出量が県内で上位7位は気がかりである。住民への周知徹底が必要と思われる。	→粟国村との資源化率の違いについて ・本町では資源ごみとして扱っていない古紙類を粟国村ではリサイクルしていること。また、令和4年度において、貯留ヤードに滞留していた資源ごみ（鉄類等）を有価物として沖縄本島の業者へ引き渡したとの事が違いの一因と考えている。（粟国村担当者聞き取り） ※複数年貯めていた資源ごみを令和4年度に一齐にリサイクルしたことからその年度の資源化率が上昇。 クリーンセンターのリニューアルも契機にし、適切なゴミ処理について、町民への周知徹底・意識醸成を図ってきたい。（個別施策の中で、検討していきたい。）
4	資料 2	25	-	空き家問題（Bランク）＊利用予定がない、管理問題あり（仏壇）。 空家は沢山あるのに、久米島で生活、働こうと思ってもアパートが無い、ペットを飼える貸家がないなどの理由で人材確保に苦慮している現状。 提案：Bランクの空き家が多いという事なので、町の取り組みとして、委託管理の取り組みは出来なんでしょうか。	修繕や改修等により利活用が可能な空き家に関しては、国庫補助を活用し、条件を満たした空き家の改修に係る費用を支援する取り組みを行っております。ご提案の委託管理については、今後実際委託管理という方法が可能かどうかも含め、個別施策の中で、検討していきたい。
5	資料 2	16	-	持ち家に関する事：単身世帯（独居）で65歳以上40% 65歳未満の単身世帯20% 意見：現在でも深刻です。10年後はもっと深刻になります。孤独死の可能性は免れないかと思えます。島内では施設不足、かといって本島の施設を利用できるかと言ったら厳しいでしょう。例：浦添の方が中部の施設に入所せざるを得ない実状がある。 意見：具体的なデータは示されていないが、 ①「8050問題」、「透析患者の問題」、島内施設に入所できない待機者の数は？島外の施設に入所している数は？ ②専門職者の育成、その他の対応者の不足は非常に深刻。早急に具体的な人材育成の取り組みが必要かと。	①「8050問題」、「透析患者の問題」について、現状を把握したうえで、個別施策の中で、検討していきたい。 【島内施設＝老人ホームとして】 ・島内特養老人ホーム2か所及びグループホーム1か所を合わせて待機者は約88名（令和6年9月頃 各施設へ電話聴取） ・当該施設入所者数は把握できておりません。 ②次期総合計画の議論の中でご意見をいただきつつ、必要とされる専門職や対応者の必要数を検討しながら確保・育成の取組についても検討していきたい。 あらゆる所で人手不足が顕著であり、その対策も含め検討していきたい。
6	資料 2	21	-	奨学金、島への貢献は？島にもどってきた人は？専門職の割合は？奨学金の付与に関する検討が必要かと考えます。	町奨学金の運用について、関係人口として島に貢献していただけるよう持続的かつ効果的な方法へと改善に向けて取り組んでまいります。

第1回審議会に関する意見・質問等について

	資料番号	ページ	行	意見・質問等内容	町の回答
7	資料3	1	図表	<p>(審議会コメント) 掲載されている表は、あくまで無作為抽出の場合の統計学上の信頼区間の機械的な計算結果(高校の数学の教科書に載っている計算)であり、今回のような無作為抽出ではない回答には適用できません。この表を以て、今回のアンケート結果が島民全体の意見を精度よく反映しているようなミスリーディングな説明がなされましたが、実際には逆なので注意いただきたいです(この表がここにあること自体が、故意にそういった誤読を狙っているように見えます。)</p> <p>(追加) 逆に、アンケート回答と、実際のデータの差異の大小によって、「どんな属性の町民が町の総合計画に関心が高いのか?」は分かると思うので、優先度は低いですがごく簡単でよいので、その点の分析をしていただきたいです。(たとえば、アンケート回答の年代比率と、島民の実際の年代比率を比較すると、どんな年内在が積極的に回答している、という傾向が分かるはず)</p>	<p>無作為抽出(サンプリング調査)ではないため、本アンケートの結果は「傾向を示す参考値」として扱いたい。</p> <p>第2回審議会では、クロス集計を提示し、属性ごとの比較、分析を提示する。</p>
8	資料3	1	-	住民アンケートの全体回収率が12.4%、回答者の属性の最も高いのが公務員(19.1%)で、回答者の偏りが少し気になります。	無作為抽出(サンプリング調査)ではないため、偏りが生じた。特に役場職員には町民への周知と、回答への協力を呼び掛けしたため、このような結果になったと予想する。
9	資料3	24	-	島全体でできること:「人材育成」とあるが、具体的にどのような人材育成をイメージしているのか	行政だけでなく、島全体(地域・民間企業・教育関係等)で久米島が今後も持続可能な島であり続けるために必要な人材を育成する必要があると考えている。どのような人材が必要なのかは、次期総合計画策定の中で議論していきたい。 子どもたちの教育だけでなく、産業分野においても産業間連携による人材交流や合同研修など島全体で取組や活動に対して支援の充実を図るなど検討していきたい。
10	資料3	8	-	島に戻ってきた理由に就職とあるが具体的にはどのような仕事でしょうか。さらに20代の方が43.0%もいるという事です。	島にもどってきた理由が就職の方について、いまもその当時の職業についているかどうかは本アンケートからは確認ができません。 また20代が43%もいる事については、島に戻ってきた・移住した時の年代となります。 ※戻ってきた・移住した人の内、43%の人が20代の時に島に戻ってきた・移住したということ
11	資料4	32	-	<p>福祉の充実に関する事</p> <p>①次期福祉課の職員定数は?</p> <p>②高齢者の生きがい作り取り組み状況は?</p> <p>③参考:空き地問題、野菜作りについて:久米島農業の将来を考える(久米島高校3年生)の新聞投稿</p>	次期計画の施策について、現行計画の検証を踏まえつつ、国・県の方針、まちづくりの潮流、アンケートやワークショップから見てきた成果や課題から、各分野の方針、具体的な方策(施策)を今後検討する。今後の審議会の論点となるため、計画の案を確認されたうえで、改めてご意見頂きたい。
12	資料4	33	-	目指そう指標の状況:20歳から39歳の女性人口……具体的な取り組み案はどのように考えているのでしょうか?	(11の回答に同様)
13	資料4(施策1, 2)	6,7	-	出産できる島の課題等は切実ですね。医療体制の強化、補助制度の充実を含め、出産時に集中した支援から出産後を見据えた継続的な医療体制の支援への転換は賛成です。	(11の回答に同様)

第1回審議会に関する意見・質問等について

	資料番号	ページ	行	意見・質問等内容	町の回答
14	資料4（施策11）	16	-	町民1人当たりの図書の貸し出し冊数や入館者数が目標値に比べ、かなり低く感じる。りっぱな施設（ほんのり）があるだけに、小中高生だけでなく、生涯教育の観点からも、大人も含め今後の積極的な活用を規模する。また成人者向けの講座等の開催を希望する。	(11の回答に同様)
15	資料4（施策12）	17	-	今後とも島内小中校生対象の職場体験や職業人講話の開催を望む。紅芋加工品の商品開発など、久米高園芸科との連携はできないでしょうか？	(11の回答に同様)
16	資料4（施策20）	25	-	昨年数回来島して、久米島においてゴミ問題（海岸線や廃屋等）の深刻さを実感している。令和8年に新処理施設が運用開始の予定だそうです。住民への周知や小中高生への教育の充実を望む。	(11の回答に同様)
17	資料4（施策28）	33	-	20歳から39歳までの女性の人口減少は、様々なデータから深刻な状況のようである。様々な要因が考えられるが、その原因、対策を掘り下げて考える必要があると思う。人口減少対策の大きな柱である。	(11の回答に同様)
18	資料4（施策34）	39	-	久米島町史の編纂計画の進捗状況を伺いたい。いつ頃完成時期なのか？	編集計画に基づき調査及び資料の収集を行っています。町史編集事業の最終年、令和11年度には『久米島町史資料編民俗編』を刊行する予定です。
19	資料4（施策41）	46	-	情報発信力の強化は、非常に大切なコンテンツと思う。HP、LINEも大切だが、地元新聞やテレビの掲載数のチェックが必要ではないか？できれば、役場内にそのチームをつくり、情報発信の強化に務めてもらいたい。	委員のご指摘のとおり、新聞やテレビなどのメディアの影響力はまだまだ大きいと思われるが、若者の新聞・テレビ離れもある中で、どのような方法で発信するのが効果的なのか、効果があったのか考える必要がある。効果把握のためのチェック体制や役場内チームをつくるのかどうかも含め次期総合計画策定の中で検討していきたい。
20	資料4（施策44）	49	-	空き家バンクへの土地、家屋の登録数が伸び悩んでいるとあるが、具体的にどのような働きかけを行ったのか？今後の見通しは？	空き家バンクに登録されている物件または登録されていた物件に対し、空き家の改修費用の一部を補助する(国庫補助)という取り組みを行ってきました。また、空き家活用相談員と連携し、空き家の相談があった際に、空き家バンク制度の案内を行っています。引き続き、空き家バンク登録について促進していきたい。
21	資料4（施策5）	10	-	特別支援教育の内容が年々複雑化しており、またケアの必要は児童生徒が増加傾向と伺っている。その対策として、特別教育支援員への研修内容の見直しや発達障がいに関する周知・普及方法の見直しは随時必要と考える。支援員の研修はどのようにしているのか？	支援員の研修は、年間3回実施しており、研修内容は久米島町の特別支援学級の実態を踏まえ、当該児童にとってよりよい支援に繋がるように各種研修会で得た情報等の共有や事前に困り感を調査し解決に向けてのアドバイスをしている。
22	資料4（施策6）	11	-	・「糖尿病予備軍の高1の割合が27.5%と高い」との記載に驚いている。久米島は、以前（私が久米島で在職した2011～2014）も高かったと記憶している。（間違っていたらすみません）いろいろ対策はしてきたと思うが改善できていない主な理由は何でしょうか？ ・子どもの検診カルテを作成して活用しているのは、大変評価できる素晴らしい取り組みだと思う。	こども健診後の生活習慣等の改善につながるよう個別相談を毎年実施していますが、年々申込数が減少しており、個別相談を十分に実施できていないことが取組の課題としてあります。

第1回審議会に関する意見・質問等について

	資料番号	ページ	行	意見・質問等内容	町の回答
23	資料4 (施策7)	12	-	幼児1人当たりの図書の貸出し冊数が、目標値の30.5冊に比べ、現状3.74冊は、余りにも寂しい。「ほんのもり」には、たくさん良書が準備されている。ぜひもっと活用して頂きたい。読書はすべての学習の原泉です。幼児から、読み聞かせ等、読書に慣れ親しむ環境を作っていただきたい。	目標値を全国平均値としたことから現状の数値との隔離が生じている。目標値の設定については過去のほんのもりの実績をもとに見直しを行いたい。
24	資料4 (施策9)	14	-	久米高受験者割合(町内)の目標値が90.5%、現状(R5)が42%となっており、その乖離が大きい。定員の充足率についても目標値との差が大きい。また、普通科が2クラスから1クラスへの減は、この2、3年内には予想され、その対策も喫緊の課題である。	目標値の設定が適切であったかを含め改善していく。 久米島高校(高校魅力化)の議論については、審議会ではなく個別に議論を進めたいと考えておりますが、これからの10年間でも継続して取り組むべき施策だと認識しております。
25	資料5	1~9	-	<p>(審議会でごコメントさせていただいた内容の整理) 人口関係の指標(特殊合計出生率、社会増減、人口)について、単にシミュレーションのための入力条件なのか、それとも目標なのか、敢えて(?)ぼやかしているように見えますが、私としては「目標」にはなりえないと思います。理由は以下3つです。</p> <p>1) 人口増減は、町レベルでコントロールできない要因が大きすぎるため。「目標」なら、自らが努力したら動かせる指標を選んだ方がよいと思います。極端な例を挙げると「今年の夏は暑かったから、来年の最高気温の目標は32℃にしよう」という目標設定がナンセンスなのと同じです。</p> <p>2) 現在目標数値(?)が書かれている特殊合計出生率や社会増減(特に委員会中に話題に挙がった久米島高校への進学率)は、個人のライフスタイルや価値観に根ざすものです。そこに町としての目標という形で踏み込むべきではないと考えます。</p> <p>3) 資料に、人口増のための提言として、教育の充実・魅力向上や高齢者の活躍の場づくり等が挙げられていますが、これらはそれ自体が「目標」というべき重要な事がらと認識しています。人口増のためにこれらをやると、というのは矮小化になってしまうと思います。</p> <p>(追加) 人口ビジョンの位置づけや策定の目的について、まず教科書的な内容を審議会内でも共有いただきたいです。審議会終了後ですみませんが、策定の手引き(https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chihouban/pdf/tebiki_20240624.pdf)に目を通しました。それによると、人口ビジョンは、総合戦略の基礎的データの一つという位置づけで、そのための分析・推計のみを目的としていると理解しました(人口増や維持に関する記載はなし)。</p> <p>総合戦略策定のために、前提として人口見通しが必要なのはよく理解できるので、くれぐれも戦略の前提(人口見通し)と戦略の目指すところをごっちゃにしないようお願いいたします。</p>	<p>委員のご指摘のとおり、国が想定している人口ビジョンについては、現状の把握・今後の見通しを前提として、取り組むべき施策を検討するための基礎資料の一つとなります。</p> <p>第1回の審議会では、あくまでもH28年度に設定した目標値について検証した内容の説明となります。</p> <p>第2回以降の審議会の中で、ご意見を参考にさせていただきながら、久米島町にとっての人口ビジョン策定に取り組んでいきたいと考えております。</p>

第1回審議会に関する意見・質問等について

	資料番号	ページ	行	意見・質問等内容	町の回答
26	(審議会の進行について)	-	-	委員長の提示した議題に即していない発言（意見表明）については、事務局は今回のように真面目に回答することを避けて、提示された議題に沿って議論するように促した方がいいと思いました。委員全員がそれをやっていたら時間がいくらあっても足りず、しかも議題を理解せずに喋る人の独壇場となりがちなためです。 17人委員がいる場でのフリーディスカッションは困難なので、本当に委員の意見を募りたい項目については、審議会の前に問題設定をして委員から意見（や資料）を回収、事前配布して委員全員に目を通してもらっておく、くらいしないと、発散してしまいそうです。	審議会の進行方法についてのご意見ありがとうございます。事務局側として聞きたい内容や整理したい方向性などについても今回のご意見を参考にさせていただきながら審議会の進行がより良いものとなるよう委員の皆様とコミュニケーションをとりながら取り組んでまいります。
27	(人口関連)	-	-	人口関連では、人口減少を防ぐ施策を立てるのか、人口減少を前提として施策を立てるのか、という二択の議論をしがちですが（審議会でもそういう論調が一部ありましたが）、両者は両立できるので、いずれも施策として入っていかまわないと考えています。私の専門に近い気候変動（地球温暖化）界限では、前者は「気候変動緩和」、後者は「気候変動適応」と呼ばれ、気候変動対策の両輪となっています。	委員のご指摘の通り、人口減少の要因である自然増減や社会増減に対する取組である「人口増加策」と人口減少に適応しながら住民サービスの維持や幸福度を減少させないための「人口減少への適応策」について、並行して取り組む必要があると考えております。